

㊦ 九州産交バスグループ

2026年度 安全・サービスへの取り組み バスグループスローガン

「選ばれる存在になる」

安全基本方針

九州産交バスグループは、《運輸安全マネジメント体制の確立》と継続的改善を実施する

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1.「安全最優先の原則」 | 輸送の安全の確保が事業経営の根幹である |
| 2.「関係法令等の遵守」 | 法令及び会社規定の遵守 |
| 3.「安全管理体制の継続的改善」 | P・D・C・Aサイクルを継続させていく |

●安全目標 「重大事故ゼロ 有責事故20%削減」

★バスグループ『3つ』の『3秒ルール』徹底

- ①「車内事故 20%削減」 着席確認後の「3秒ルール徹底」
- ②「後退事故 20%削減」 後退開始前の「3秒ルール徹底」
- ③「追突事故 20%削減」 前方注視と車間距離の「3秒ルール徹底」

『拳手挨拶』禁止・・・全員で徹底！

●CS向上目標 「接遇苦情50%削減」～ありがとうございますの徹底～

★交通弱者への『優しい』対応

- ①お客様・社員に、「ありがとう」を伝えよう。
～不快に思われる言葉・言い方は絶対にしない～
- ②バス停「無停車通過」をなくそう。
～バス停前後15mの確実な確認～

《職場での取り組み数値目標》

・安全向上の為の数値目標：

・CS向上の為の数値目標：

～事故削減へ～ 「3つ」の「3秒ルール」

九州産交バスグループ

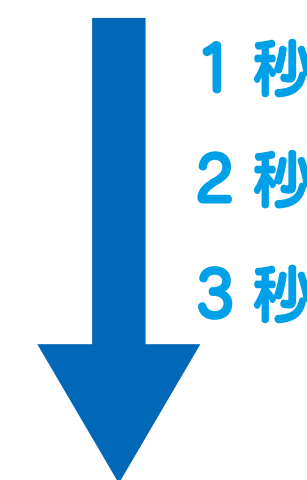
バスグループでは新たに『3秒ルール』を取入れて事故の削減に取り組みます。このルールは3秒間を安全確認のため有効に活用し、事故防止のために必要な時間と位置付けることで、車内事故・後退事故の防止や車間距離の保持に繋げ、結果的に事故を削減する重要な取り組みです。

現在、発車時は「着席を確認して発車する」後退時は「アクセルOFF/後方の確認/バックアイカメラ確認」等を教育していますが、基準が曖昧なので更に明確にし、事故を削減することを目的に実施しますので、バスグループ全体で徹底しましょう。

3秒ルール：【車内事故防止】

車内事故の主な原因は「着席を確認していない/着席と同時に発車した」など確実な着席が出来ていない状態での発車です。3秒ルールでは、お客様の着席を確認し、左右の安全確認・車内の安全確認を行い、動き出す。（発車する）

【発車ルール】



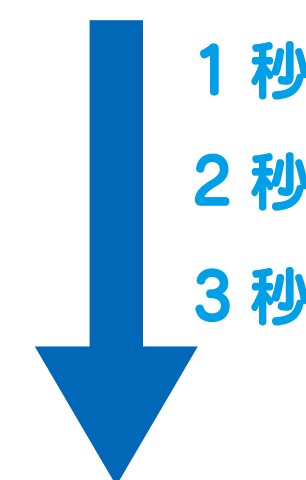
- 1 秒 1『ドア閉鎖確認』
- 2 秒 2『着席確認』
- 3 秒 3『左右・車内安全確認』

⇒『発進』・・・滑らかに

3秒ルール：【後退事故防止】

後退事故の主な原因は「後方安全不確認/バックアイカメラ不確認/思い込み」などの慣れや油断です。3秒ルールでは、バックギアに入れる前に「後方確認/バックアイカメラ確認」を行う事で、自車の後方や周囲の安全確認をして3秒間を有効に活用してから動き出す。

【後退ルール】



- 1 秒 1 目視、ミラーで後退先の安全確認
- 2 秒 2 バックギアにギアチェンジ
- 3 秒 3『バックアイカメラ』で後方確認

⇒『後退開始』・・・ゆっくりと

3秒ルール：【適切な車間距離の確保】

車間距離の不足により「飛石によるFガラスの破損」が多数発生しております。3秒ルールでは、目印を決めて前車がそこを通り過ぎてから「ゼロ1、ゼロ2、ゼロ3」と3秒数えた後に自車が同地点を通過すれば、右表の車間距離がとれています。

※高速道路走行中は、速度以上の車間距離が必要です。

時速	3秒後	4秒後
40km/h	33,3m	44,4m
50km/h	41,4m	55,2m
60km/h	49,8m	66,4m
70km/h	58,2m	77,6m
80km/h	66,6m	88,8m
90km/h	75,0m	100,0m
100km/h	83,1m	110,8m

